

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記項目につきまして本年 10 月より検査試薬および基準値等を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬 具

記

対象項目／変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
2214	プレセプシン	検査方法 基準値 報告下限	CLEIA [LSIメディエンス] 敗血症(細菌性)診断の カットオフ値 500pg/mL 50.0 pg/mL 未満	CLEIA [LSIメディエンス] 314 pg/mL 未満 (敗血症診断のカットオフ値 500 pg/mL) 20.0 pg/mL 未満	全自動分析装置 用試薬の採用
0921	特異的 IgE ブタクサ	検査試薬	FEIA [サーモフィッシャーダイアグノスティックス]	FEIA [サーモフィッシャーダイアグノスティックス]	同一メーカーの改良試薬への変更
1845	CAP-16 花粉症・鼻炎	検査試薬	FEIA [サーモフィッシャーダイアグノスティックス]	FEIA [サーモフィッシャーダイアグノスティックス]	アレルギー 16 種の うち、ブタクサのみ 改良試薬へ変更
1846	CAP-16 アレルギー性喘息				
2061	農薬スクリーニング	検査対象農薬	別掲参照(22 成分)	別掲参照(37 成分)	検査対象農薬の 見直し

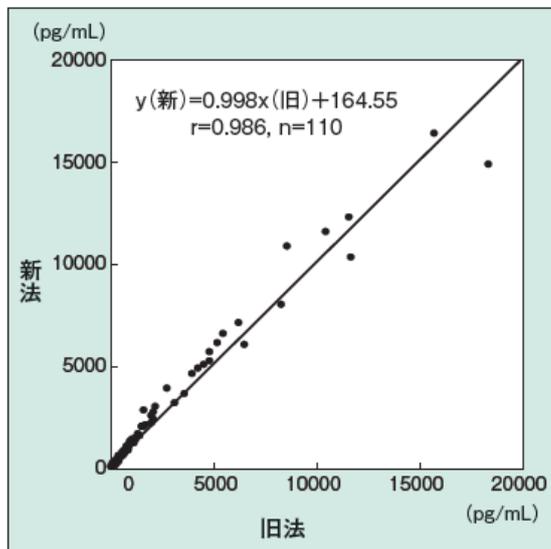
変更期日

- 平成 29 年 10 月 2 日 (月) 受付日分より

【プレセプシン】

プレセプシンの測定試薬を全自動分析装置用試薬に変更致します。本変更に伴い、基準値を敗血症（細菌性）診断のカットオフ値に変更致します。

新旧二法の相関



【特異的 I g E ブタクサ】

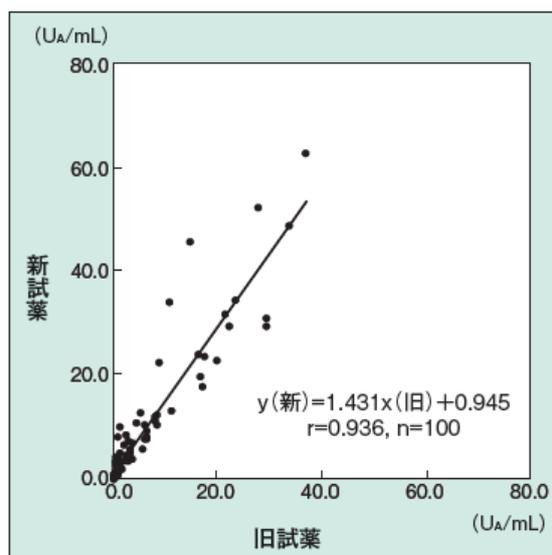
特異的 IgE ブタクサの検査試薬を同一メーカーが販売するより高感度な改良試薬に変更致します。改良試薬はブタクサ花粉の抽出工程の改良により、ブタクサ特異的 IgE との反応性が向上しています。なお、本変更に伴う基準値の変更はございません。

新旧二法の相関

[判定一致率]

		旧試薬 (クラス)							n=100
新試薬 (クラス)		0	1	2	3	4	5	6	
6									
5							2		
4					7	7			
3		3	10	15					
2		1	10	18					
1		13	3						
0		11							

[測定値]



陽性一致率: 100.0%(59/59)
陰性一致率: 44.0%(11/25)
判定一致率: 54.0%(54/100)

【農薬スクリーニング】

農薬スクリーニングの検査対象農薬を下記のように 37 成分から 22 成分に変更致します。なお、分析対象から除外する成分は登録が失効している農薬であり、弊社での確認において事故事例は報告されておりません。また、来年 4 月には、検査法を GC-MS から LC-MS/MS への変更を予定しております。詳細につきましては、後日改めてご案内致します。

農薬分析対象薬

新	旧
スミチオン(MEP)	スミチオン(MEP)
マラチオン	マラチオン
CYAP	サリチオン
エチルチオメトン	CYAP
EPN	チオメトン
ダイアジノン	エチルチオメトン
MPP	EPN
メチダチオン(DMTP)	ダイアジノン
イソキサチオン	MPP
ピリミホスメチル	CYP
DDVP	パラチオン
トリクロルフォン(DEP)	メチダチオン(DMTP)
フェンバレレート	イソキサチオン
シペルメトリン	ピリミホスメチル
ペルメトリン	DDVP
メトリブジン	トリクロルフォン(DEP)
シマジン(CAT)	α -ベンゾエピン
フェノブカルブ(BPMC)	γ -BHC
カルバリル(NAC)	ディルドリン
メソミル	アルドリン
アラクロール	エンドリン
プロパニル(DCPA)	ニトロフェン
	クロルデン
	DDT
	DDD
	DDE
	フェンバレレート
	シペルメトリン
	ペルメトリン
	メトリブジン
	シマジン(CAT)
	フェノブカルブ(BPMC)
	カルバリル(NAC)
	メソミル
	アラクロール
	プロパニル(DCPA)
	PCP(ペンタクロルフェノール)

* 青文字は分析対象から削除